



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成 31 年 1 月 21 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ トクテイヒエイリカツドウホウジン

オカヤマシコドモセンター

団体名 特定非営利活動法人岡山市子どもセンター

所在地

連絡先

フリガナ

代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	御南和やかサロン
事業実施小学校区・地区	御南小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 5 回目 / 【平成 27 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 岡山市において有数の乳幼児を育てる若い世代や転勤族の多い学区であり、また、独り暮らしや高齢者のみの世帯も多く、世帯の孤立化の解消が課題となっています。子育て世代や高齢者の交流の場の必要性から、平成 27 年度より多世代交流の場としての機能を持つ「御南和やかサロン」(火曜日と水曜日の 10 時から 13 時まで)を開催して、4 年が過ぎようとしています。 参加者の初年度は 1,058 名(15.3 人/日)、2 年目は 1,736 名(平均 25.9 人/日)3 年目は 2,579 名(平均 35.8 人/日)と参加者が年々増え、今年は、7 月の豪雨災害でサロンも床上浸水となり、2 週間の閉鎖を余儀なくされたにも関わらず、1 月 17 日現在 2,581 名となっております。乳幼児を持つ保護者同士がつながり、親子で友達になり子育て情報を共有したり交換したり、また、スタッフあるいは母親同士で悩みを聞いたり話したりできる居場所としての御南和やかサロンへの必要性和参加者からの期待の大きさを実感しています。 平成 28 年度から、岡山西支援学校の野菜販売や職場体験実習の場としての活用は、地域の方からも喜ばれ、多様な人と人との関わり、繋がれる場として双方に貴重な場となっています。 あわせて、御南和やかサロン参加の親子だけでなく、以前参加していた幼稚園児、小学生の親子も、長年継続実施されている「親子土曜塾」(主催:ベターライフ御南)に参加され、運営されている地域の高齢者とのふれあいが増え、交流、繋がりが生まれています。 一方、地域在住の高齢者との多世代交流の場として、お花見、誕生祭、そうめん流し、御南和やかバザーなど季節に合わせて 2 カ月に一度「みんなでランチを楽しもう」を開催してきましたが、平成 30 年度の猛暑や雨などにより屋外での行事への参加はありませんでした。地域の方々の意見を聞くなど現状の検証が必要と考えています。 今後は、長期休暇中や「親子土曜塾」参加の小学生、中学生も視野に入れ、サロンを利用して若い子育て世代と地域在住の高齢者など多様な世代が交流する場をつくり、お互いの顔の見える、声を掛け合える関係を構築し、豊かなコミュニティの形成に繋いでいきたいと思っています。

事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 若い子育て世代の親が子どもとともに集い交流し、子育ての情報交換や悩みを相談しあえる場をつくる。 また、地域在住の高齢者と若い世代の親とが関わりあえる場を提供し、地域の多様な世代の人が互いに支え合う地域づくりをしていく。
事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ◆多世代交流のできるサロンの開設（週2回開催） ・季節を感じ文化に触れることのできる体験の場の提供 ・「外遊び」のできる環境づくりと機会の提供 ・親子が異年齢で交流できる場の提供 ・子育てや地域づくりに関する学習会の実施 ◆「子ども」「地域づくり」「遊び」に関する情報発信
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 《成果》 ・子育て世代の親にとっては、情報交換し合える仲間作りができ、核家族化による孤立した子育て生活を打破することができる。 ・様々な年齢の経験豊かな地域住民と関わったり、悩みを相談できたりすることで、子育てや生活が豊かになり、子育てが楽しいと思えるようになる。 ・子どもにとっては、様々な人と関わり、あたたかく見守られる中で成長できる環境が整う。 ・外遊びを楽しむ親子や子どもが増え、居場所として充実していく。 ・子どもを中心にすえ、地域住民が関係を築きながら活動を行うことで、活動が活発になり地域住民主体の地域づくりに発展する。 《目標》 ・多世代の人が交流し、つながれるような場をつくる。 ・サロン利用者が自由に外で遊べるよう、外遊びの環境を整える。 ・子育て世代の参加者の声かけによって、毎回利用者が増えていることを大切にして、参加者が運営に関われるようにしていく。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ・季節や伝統文化に触れる行事を行い、高齢者と子育て世代が参加することにより、日常生活では触れることのできない体験ができるようにする。 ・室内だけでなく、園庭を使つてのびのびと過ごせる環境をつくり、五感を刺激できるように「外遊び」を取り入れる。 ・子育て中の親子にとって、高齢者との交流も必要なので、今年度はベターライフ御南の「ふれあい土曜塾」（月1～2回の地域の高齢者の集い）の意見も聞きながら連携し、和やかサロン開催の日程と合わせて、交流できる場をつくっていく一年にしたい。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 御南学区連合町内会（御南学区ボランティア団体 ベターライフ御南）

事業の 情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・「御南和やかサロンだより」を毎月発行し、御南小学校区内の町内会へ回覧する。 ・近隣公民館、保育園（分園）と連携を取りながら、広報、情報提供を行う。 ・当団体 HP、FB にて、活動の案内や活動の様子を発信する。 ・おかやまプレーパークに「御南和やかサロンだより」を掲示して、広報する。
学区 地区 への 広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・旧白石幼稚園の園庭の場を活かした外遊びができるよう、おかやまプレーパークとの連携や学習の機会を設けて豊かな子どもの育ちを支援していく。 ・過去4年の開催実績(参加者数の増加)から、参加者の口コミで乳幼児を持つ親や地域住民から継続開催を求める声が多い。 ・長期休暇中などには小学生も利用できるようにベターライフ御南主催の『親子土曜塾』と連携していく。 ・地域の高齢者との交流を進めるために「ふれあい土曜塾」との連携を深めていく。 ・岡山西支援学校との交流も活発にしていきたい。
前年度 からの 見直し 拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 ・「高齢者の参加者が少ないということなので、負担にならない程度の高齢者が参加できる企画などを行ってほしい。」については、月1～2回ベターライフ御南主催の「ふれあい土曜塾」（地域の高齢者の集い）と連携を図り、工作や歌、体操などを御南和やかサロンの開催日に合わせて、まずは年に2～3回実施していきたい。内容は「ふれあい土曜塾」の運営者と共に考えていく。 ・「『参加者から当事者に変化する』中で、どのような運営方法を考えているかを教えてください。」については、昼食時の机のセッティング、台拭き、手洗い、片付けなどの声掛けが自主的にできてきている。今後は、徐々に絵本の読み聞かせや掲示物の作成などにも関わってもらおう。 ・乳幼児を連れた若い子育て世代間の交流はどんどん増えてきているので、今年度は、多世代交流を意識して取り組んでいきたい。
次年度 以降の 予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 ・御南和やかサロンが乳幼児連れの若い世代や地域住民の居場所となるよう継続して開催する。 ・サロン参加者や地域住民がサロンの運営に関われるような仕組みを考える。 ・将来的に持続可能な事業にしていくためにも、スタッフ人件費が確保できるように展開していきたい。 ②資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他 PR したい 点	・乳幼児連れの若い世代や地域住民の思いが、サロン運営やスタッフに継続的に反映されるように有意義な活動を展開していきます。 ・ベターライフ御南主催「親子土曜塾」「ふれあい土曜塾」などとも連携して、地域全体で子育て世代と地域在住の高齢者の出会い、交流の場が温かい地域づくりのモデルケースとなるよう取り組んでいきます。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	日常の活動	季節行事	多世代交流	スタッフ会議	実行委員会	その他
4月	毎週火曜日、 水曜日10～13時 室内(マット遊び、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせと貸し出し、わらべ歌など) 屋外(砂場、ロープ、ボール、マットなど、押し車など)	・お花見 ・お雛の片付けと5月人形を飾ろう	ベターライフ御南主催の「ふれあい土曜塾」との連携による企画 (年3～4回程度)	スタッフ会議 (毎月第3火曜日)		「御南和やかサロン」だよりの発行(毎月) 子育て講演会 (年2～3回) スタッフ研修 (年5回) 岡山西支援学校による野菜販売 (年5回程度)
5月		・端午の節句				
6月		・誕生祭			実行委員会	
7月	・水あそび	・七夕				
8月	・水あそび	・そうめん流し				
9月		・子どものための防災				
10月		・ミニ運動会 ・ハロウィン				
11月		・落ち葉であそぼ				
12月		・和やかバザー ・お正月飾り作り ・クリスマス会				
1月		・お正月あそび(凧揚げ、かるた、お手玉、書初め)				
2月		・焼いもを作って食べよう ・お雛を飾ろう				
3月	↓			↓	監査報告会 実行委員会	

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	101, 000	101, 000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金	38, 500	31, 000	
協賛金	10, 000	10, 000	ベターライフ御南
寄付、他収入	60, 250	60, 000	寄付、バザーなど
計	209, 750	202, 000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
報償費	50, 400	56, 000	講師謝金@5600×10人
消耗品費	130, 000	100, 000	玩具、紙、インク
通信運搬費	820	1, 000	切手、はがき、レターパック
燃料費	6, 000	10, 000	灯油
食糧費	5, 530	5, 000	会議用お茶
印刷製本費	0	10, 000	資料のコピー代
原材料費	13, 000	10, 000	米、野菜などの食材
委託費	0	0	
研修費	4, 000	10, 000	参加費@500×4人×5回 (地域子育て支援拠点事業等従事者 研修会への参加費)
計	209, 750	202, 000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。